

京都府元気印(中小企業応援条例に基づく認定制度)認定企業のご紹介



「京都府中小企業応援条例に基づく認定制度」において認定を受けた株式会社Kamogawaの取締役社長(COO)竹谷 政利氏に、新社屋の建設と共に取り組むDXについて伺いました。

株式会社 Kamogawa

<http://www.kamog.co.jp/>



取締役社長(COO)
竹谷 政利氏

機械工具の専門商社から 自社ブランドの製造に事業を拡大

1949(昭和24)年、砥石の企画・卸売を主事業として創業。その後、機械工具の専門商社へと事業を転換。「そんなとこ・ことまで考える」をPhilosophyに掲げ、製造現場で求められる多種多様な機械工具の卸売を手がけ、国内はもとより中国、ベトナム、フィリピン、ミャンマーといった海外にも事業展開してきました。

さらに摩耗した工具の再研磨、海外に納品した機械・装置のメンテナンスサービスにも事業を拡大。そこで培った技術力を活かし、2000年代には自社ブランド商品の企画・製造事業をスタートさせました。当社の



高付加価値の機械工具

強みは、製造現場のニーズを汲み取り、他にはない高付加価値の製品を生み出す企画力にあります。現在はオリジナルの超硬特殊切削工具、およびダイヤモンド電着工具を製造・販売する他、OEMの販売も行っています。

新本社ビル建設を機にDX化を推進

国内5拠点、海外3カ国9拠点に営業所・工場を構えるまでに成長した現在、事業所間や従業員同士のコミュニケーションや情報共有の困難さが課題でした。そこで、新本社ビル建設を機

にDXの推進を計画し、「DXによる見える化を実現し、新たな価値を創造する」をテーマに今回の認定を受けました。

2021(令和3)年12月に竣工した新社屋内には、オンライン会議専用ルームを設置するなど、事業所や部署を超えてコミュニケーションを活性化させる環境を整えました。



また新たに顧客管理・営業支援システムや業務管理ソフトなどを導入。これまで営業担当者が個々に管理していた営業案件について開発から納品までの情報を一元化し、誰もが確認できるよう「見える化」しました。またお客様の要望などを集約し、シームレスに情報を共有することで、新たな製品開発に活かすことも可能になりました。

今後はさらに自社製造事業や人材育成を強化し、プライベートブランドを増やしていくつもりです。一方でデジタルマーケティングなど企業や製品について広く訴求していくことも重要と考えます。今回の認定が認知度向上の後押しになることを願い、これからも一層の事業拡大を図って成長を遂げていきたいです。

Company Data

- 取締役社長(COO)／竹谷 政利
- 所在地／京都市伏見区竹田田中宮町78 ●電話／075-605-3123
- 設立／1949(昭和24)年12月21日
- 事業内容／生産現場に必要な全ての生産財の卸売、プライベートブランドの企画・製造・販売、工具の再研磨、機械・装置のメンテナンス